

ギリシャ

全世界の коммуニストと労働者階級は、社会主義・共産主義をめざし闘ってきた

同志諸君、

一九一七年のロシア十月社会主義大革命の一〇五周年を記念して諸君が組織する集会にあいさつを送る。十月革命は、新しい歴史的時代、資本主義から社会主義・共産主義への移行の時代の夜明けを告げる重要な事件だった。

われわれの時代は、資本主義から社会主義・共産主義への移行の時代である。反革命は、時代の性格を変えるものではない。むしろ、確証している。生産と労働の社会的性格と生産物の資本家による取得という基本矛盾、すなわち、資本と労働の矛盾は、先鋭化している。矛盾は、空前の規模に達しており、社会主義革命によって解決されなければならない。

今年は、また、ソビエト連邦創設から一〇〇周年でもある。

ソ連は、人類のあらゆる偉大な前進、搾取というくびきからの解放に向かう必然的な道を示してきた。ソ連は、全世界の労働運動の指針であり、ナチズム・ファシズムを粉砕した諸人民の闘いの先導者で、婦人解放の闘いの最前線にいた。その成果とその倒壊の結果は、その歴史的貢献を無視し、中傷しようとするブルジョワ・日和見主義勢力の正否を明らかにしている。

ソ連と社会主義が倒壊させられたのは、「内部からと上から」のことであり、ソ連共産党を日和見主義が侵食する状況でのことだった。社会主義建設の諸問題に対処するに資本主義の道具と「市場」の要素を用いて行なおうとし、そのため、社会主義建設の原則を改変し、蝕むという推移の中でのことだった。この枠内で、一定の社会階層が出現した。かれらの利害は、社会主義と相容れないものだった。そして、そのことは、党、国家、政治の場で表明されていた。

だから、われわれは、いわゆる市場社会主義を美化する見解を拒絶する。その見解は、生産手段の社会化の諸原則と科学的な中央計画の否定へと至り、利潤という資本家の尺度を採用し、資本家による労働者階級の搾取を正当化する。

資本主義体制は競争によって引き裂かれており、帝国主義の戦争と介入、搾取の激化、貧困と失業の増大をもたらす。

アメリカ合衆国・NATO・EUと資本主義ロシアとの間で行なわれているウクライナでの帝国主義戦争は、欧州大西洋陣営と中国・ロシア主導で新興の欧州アジア陣営との対立の一環である。それが激化し諸君の地域に拡大する方向へ向かうのも、帝国主義体制の中での覇権を求めるアメリカ合衆国と中国との衝突に関係している。

全世界の коммуニストと労働者階級は、独自の旗印の下に勇敢に闘ってきた。それは、社会主義・共産主義をめざす闘いである。この道は、十月革命によってきりひらかれたのであり、この道をたどって、共産主義運動は、直面している思想的、政治的、組織的な危機を克服することができる。それは、マルクス・レーニン主義とプロレタリア国際主義に基づき、社会主義革命と社会主義建設の諸原則を擁護してのことである。そして、共産主義運動は、その戦略と階級闘争の必要を一致させることができる。

同志として

アテネより

二〇二二年十一月一日

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部

(見出しは編集部による)

【訳＝杉本芳夫】